

令和3年度（2021年）
上小 PTA 連合会研究集会レポート
第4分科会

テーマ

みんなで盛り上げる PTA 活動

～ お祭り開催で PTA 活動全体の活性化に～

期 日 令和3年9月4日（土）

会 場 上田市立神科小学校

助言者	今田利弘先生	丸子北中学校
司会者	大久保真理子	川辺小学校 PTA
発表者	堀内正敏	川辺小学校 PTA
記録者	植村プリトサナ	川辺小学校 PTA
記録者	宮下重子	川辺小学校 PTA
世話係	荻原司先生	和田小学校

上 田 市 立 川 辺 小 学 校 P T A

【学校紹介】



川辺小学校は、上田市上田原に位置し、1873年（明治6年）第六学区第十六中学区第八番小学「弘教」と称し、下等小学科が開設されたことに始まり、2023年（令和5年）には開校150周年の節目を迎えます。昭和40年代から50年代にかけて鉄筋コンクリート校舎がつくられ、昭和58年度には学級数31、児童数1315名のマンモス校となりましたが、南小学校の開校にともない、約半数の児童数となりました。現在は学級数23、児童数509名です。

校内に給食調理室を持ち、美味しい自校給食が子どもたちの食を支えています。

目指す子どもの姿として ・深く考え取り組む子ども【知】 ・思いやりのある子ども【徳】 ・健康でがんばりのきく子ども【体】を三本柱とし、「たくましく かしい子どもの育成」を学校教育目標としています。

地域ボランティアが支えるコミュニティスクールも今年で5年目をむかえ、環境整備、学習支援等を積極的におこない、職員、PTA、地域住民が力をあわせ、活気に満ちた学校です。

【テーマ設定の理由】

川辺小学校 PTA は、いくつかの専門部、委員会で構成され、子どもたちの安心な学校生活の為に活動していますが、そのなかでも、全部会、職員が力をあわせて毎年11月上旬におこなう「ふれあいポプラ祭り」を一大イベントとして開催しています。お祭りの目的は ①親子、PTA 会員同士、地域の人々とのふれあい、親睦を深め、楽しい時間を過ごすこと ②祭りに参加するにあたり、ルール、マナーを守り学校施設をきれいに使用する、お金の使い方・大切さを知る、あいさつをする、祭りに尽力してくださる方に感謝する等、普段の生活の根底にあることに、あらためて考えを巡らせ、今後の生活に生かすこと です。

お祭りにはバザー、焼き鳥の販売、スポーツゲーム等の多彩な企画が盛り込まれ、子どもたちも地域の方々も毎年楽しみしています。収益は PTA 活動費や、2023年に迫った川辺小学校創立150周年記念事業開催の為に積立金に当てています。お祭りを通じて PTA 会員、地域支援者のコミュニケーションが深まり、PTA 活動への参加意識を高める効果があります。一方で参加を負担に感じる役員、会員がいるであろうことも否めません。この事業を発表し、他校の状況もお聞きすることで、特定の役員に負担が集中しない方法を考え、子どもたち、地域の人々の為の事業として、さらに発展させる機会にしたい、同時に他校の活動の参考になればと考えました。また、昨年は新型コロナウイルスにより、ふれあいポプラ祭りは残念ながら中止となり、本年度もどのような形を取れるか流動的で、その時々状況を見極めながらの判断となります。昨年からの各校の活動をお聞きし、今年の各校事業の実施に向けて、感染予防をとりながら最大限企画を実施できるようなアイデアにつなげたいと思っています。更に新型コロナウイルス騒動が治まった後も、子どもたちの学校生活とともに、PTA 活動においても会議の形態や、学校とのかかわり方等、コロナ前の形と全く同じには戻らないのではないかと感じています。今後どのようなことが予想され、PTA 活動をどう盛り上げていくべきかを考える機会といたく、このたびのテーマとして設定しました。

【活動の内容】

ポプラ祭り実行委員会を組織（PTA 三役、各部長、学童保育所「バッタの家」役員）。8月末から実行委員会を重ね、内容、分担を確認していく。8月末バザー品提供のお願い文書を児童家庭に配布、学区内の家庭に回覧しバザー提供品の募集を開始。

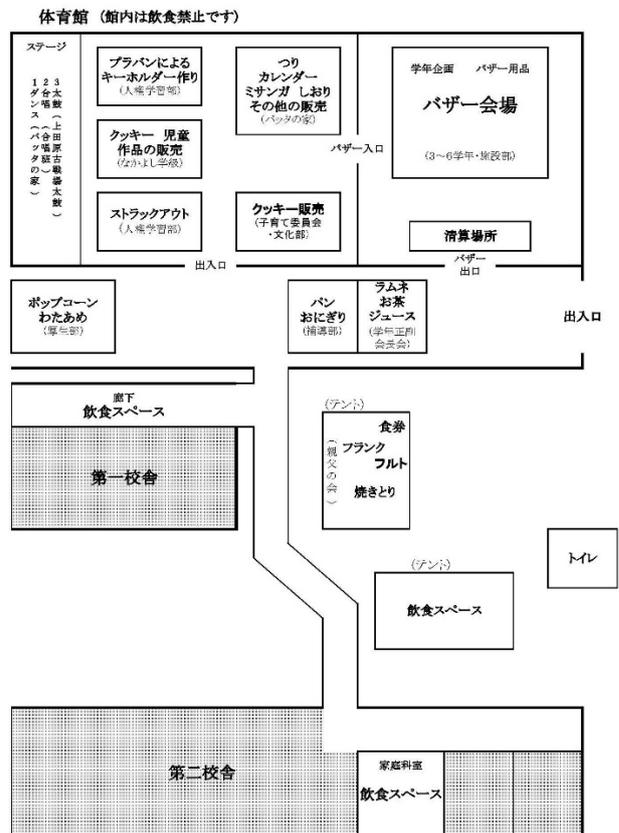
当日、10時お祭り開始、13時終了。14時頃までに片付けを終え、解散。

・主なお祭り内容（年度により変更する）

バザー品販売（施設部）、わたあめ・ポップコーンをづくり販売（厚生部）、ジュース類の販売（学級会長会）、おにぎり・パンの販売（文化部）、やきとり・フランクフルトを焼き販売（おやじの会）、手作り作品・野菜等の販売（なかよし学級）、古本・手作り作品の販売（学童バッタの家）、ストラックアウト・キーホルダー作り（人権学習部）、コメ作り体験で収穫したお米の販売（5年生）、太鼓演奏（上田原古戦場太鼓保存会）



ふれあいポプラ祭り会場案内図



【成果】

- ① PTA 会員、親子関係の深まりと共に子どもの成長を感じ、充実感を得られる
(反省レポートより) お祭りの成功に向けて、PTA 役員の連携が深められてよかった。
あまり経験できない、わたあめ作りを子どもたちと一緒にできてとても楽しかった。
子どもたちがポップコーンを売りに行くとすぐに売り切れた。子どもたちの活躍がすばらしい。
子どもたちの協力してくれる姿がとても頼もしかった。
- ② PTA 活動について理解を深めることができる
(反省会レポートより) オープニングセレモニーで PTA 会長より、お祭りの目的について言及があったので、
児童も保護者も祭りの意義がわかってよかった。
- ③ 普段 PTA 活動に参加の少ないお父さんが、おやじの会を通じて PTA 活動に関わるきっかけになる。
- ④ 収益が PTA 活動費、記念事業費に充てられ、子どもたち学習環境の充実につながる。

【今後の課題】

反省レポートをふりかえると、祭りに携わった役員にとっては充実感を感じる一方で、どうしても負担を感じてしまうという声もありました。多くの人を喜ばせるため、お祭りをにぎやかにしようとする、その分大きなエネルギーを必要とします。特定の役員への過度の負担感には次の役員選出の障害となり得ます。特定の役員に負担が集中しないようなシステム作りが重要になると思います。仕方なしのお祭り参加でなく、「子どもたちの為の笑顔の為に」という前向きな気持ちで取り組んだ方が同じ活動でもストレスは少ないはずです。「楽しい PTA 活動」と感じてもらえるお祭りにしたい。その「前向きな活動」のためには、前年度からのスムーズな引継ぎが重要ではないでしょうか。引き継ぎ事項が上手に整理されている場合、前年よりさらに充実した企画、運営につながっていく可能性が高まります。逆に引き継ぎが不十分な場合、すべてが手探りに近く、大きなストレスを感じるようになるでしょう。PTA 活動の充実、活性化には上手な引継ぎは欠かせないと考えます。

「おやじの会」の活動がお父さんの PTA 活動参加のきっかけになることは、成果欄に記載したとおりですが、まだまだ参加者は多くありません。その年の P T A 三役が親しい人に声をかけて参加してもらっている現状があります。お母さん任せの PTA 活動からの脱却は、P T A のみならず、すべての学校活動の活性化につながるのではないのでしょうか。各校の父親 PTA 活動の状況を知りたいです。

また、昨年は新型コロナウイルスにより、ふれあいポプラ祭りを含む多くの PTA 活動が制限されました。その結果、去年から今年の PTA 役員引継ぎ事項の中に、ポプラ祭りを含む事業の情報が例年より少ないという実情があります。これから今年の秋のポプラ祭り開催にあたり、1 年の空白がどう影響するか不安を感じています。なんとか一昨年までの経験をもっている役員、会員、先生と連携をとり、お祭りを成功させ、子どもたちの楽しい思い出の一つにしたいです。コロナ禍の制限が、逆転の発想で新しいアイデアを生み、次世代の地域ボランティアや PTA 活動につながるようなプラスの結果をもたらすことが出来れば理想です。決して簡単なことではないですが、可能な中で最大限の成果を上げ、2 年後の川辺小学校創立 1 5 0 周年記念事業を、みんなで大成功に導けるよう祈念しています。